

事務事業名	井頭周辺活性化事業				担当	総合政策部 プロジェクト推進室 特定プロジェクト推		
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 <sup>進後</sup> (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)			
施策名	1	農業の振興						
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 令和元 年度～ 年度)		
法令根拠								
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	6. 企画費				
事業概要	<p>平成27年3月に策定された第1次市勢発展長期計画において、井頭周辺エリアを観光交流拠点と位置づけ、多様な観光資源を有効活用し市民や来訪者にアピールできる観光交流機能の強化を目指すため、平成31年4月に事業を開始した。自然豊かな井頭公園を核として、周辺の真岡井頭温泉、チャットパレス、農産物販売交流施設いがしら「あく里っ娘」、井頭観光いちご園等の魅力的な観光資源を活かした一体的な観光ゾーンの整備を図る。</p> <p>平成31年度には、庁内に井頭公園周辺整備検討委員会及び専門部会を立ち上げ、先進地視察や事例研究を行い、将来の魅力向上に向けた提言書を取りまとめ、令和2年度には、県及び市と各施設の指定管理者に真岡市観光協会を加えた6団体による井頭周辺エリア活性化協議会を組織し、エリアの現状分析や課題の抽出、エリアが目指す将来像についての構想書をまとめたところである。</p> <p>また、井頭温泉やチャットパレスのリニューアルについては、平成31年度に温浴施設の再生実績のある民間事業者により「井頭温泉基本計画策定コンサルティング業務」を委託しリニューアルプラン等の提案を受け、令和2年度には国の実証事業によりチャットパレスにグランピング施設を導入したところである。利用者から好評を得たことからグランピング施設を正式運用に移行するとともに増設も視野に入れて事業を推進していくものである。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
2年度実績 井頭周辺エリア活性化協議会の設立及び開催 井頭周辺エリアの魅力向上に向けた調査検討業務 チャットパレスへのグランピング施設の導入  3年度計画 井頭周辺エリア活性化協議会の開催 井頭周辺エリア活性化基本計画策定業務委託 先進地視察 井頭温泉のリニューアル及びグランピング施設の増設		名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
		ア 井頭周辺エリア活性化協議会の開催	回				5	5
		イ 井頭公園周辺整備検討委員会の開催	回				4	5
		ウ 井頭公園周辺整備専門部会の開催	回				15	7
		エ 先進地視察	回				6	0
オ								
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
市民		名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
		ア 人口	人			79,324	78,874	78,592
		イ						
		ウ						
		エ						
オ								
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
多様な観光やレクリエーションのニーズに応える観光交流拠点としての充実		名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
		ア 井頭温泉入館者数	人			306,286	149,584	183,600
		イ チャットパレス宿泊者数	人			10,444	2,631	6,900
		ウ あく里っ娘利用者数	人			152,449	149,731	150,000
		エ 井頭観光いちご園入場者数	人			25,629	8,813	25,000
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	15,621	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	9,161	6,960	26,889
	事業費計 (A)	千円	0	0	9,161	22,581	26,889	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 総合計画2020-2024の政策3「にぎわいづくり」や第2期真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標2「真岡市へ新しい人の流れをつくる」に結びついた「井頭公園を核とした観光ゾーンの整備」事業である。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 市の施設を含む観光ゾーンの整備であり、市が行うのが妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 対象者は、市民を含む施設利用者であり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度実績及び令和3年度見込みの成果指標が平成31年度実績から大きく低下している。新型コロナウイルス感染症が収束に向かっている過程においても「新しい生活様式」の実践などに対応するため感染症対策を実施していくとともに、利用者の増加に向け、井頭温泉のリニューアルやチャットパレスにおけるグランピング施設の整備等を進めていく。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統廃合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携ができる(類似の事務事業名: ) <input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携できない(類似の事務事業名: ) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由) 農政課の井頭周辺農業拠点施設整備事業と連携し事業を推進している。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 国の実証事業を導入するなど最小限の費用で事業推進している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 施設の利用者数を増加させるため、観光交流拠点としての充実を図る必要がある。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 新型コロナウイルス感染拡大の影響から各施設の利用者実績が落ち込んでいる。利用者の増加に向け、井頭温泉のリニューアルやチャットパレスにおけるグランピング施設の整備を進めていく。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							